全島 警察、刑務官武道
けふから二日間武德殿で

大日本武德會台灣地方本部主催に依る第十九回全島警察官、刑務官武道大會は既報の如く今十七日から二日間植物園内武德殿演武場に於て擧行されるが、本日は柔道、明十八日は劍道が行はれ既報の各州廳が各々支部の名譽にかけて熱戰を展開することであらう、前年の優勝團は劍道花蓮港、柔道は台南となつて居り各々連覇を目差して王座を死守する事であらう、雪辱を期する台北其他各團の奮闘も期待され、兩日に亘つて熱戰相うち、劍尖火花散る大激戰が豫想されてゐる、因に開始時間は今十七日は午前八時半開會式、九時試合開始、十八日は午前九時試合開始となつてゐる

大相撲四日目から
双葉、前田に敗る
此一番、けふの羽黑、前田

やつと雨から縁の切れた四日目、連日の事とて溢れる豪傘の洋傘、蛇の目御持參ギツシリ詰めかけたファンが歸りには邪魔ものになつたのも倖せだ、今日での一番大相撲を期待された双葉に前田山の取組は双葉が腰の割れない儘立ちの寄り前田吊り身の打棄りとなつて呆つ氣ない了りを告げてしまつた、化粧立四回所で双声で立つやガツプリ左四つ、前田一寸吊りを見せるを双葉外掛に防いでそのまゝ黒柱へ寄つたが前田殘し左上手から吊り身に打棄つて勝、本場所の一番では前田の双差を双葉上手から寄り赤柱へ前田の打棄りが極つた顔がないで物言ひの末取直し、又も前田双差から吊らんとするを双葉右手に首を捲いて吊らせず水入後の引分間に双葉二枚蹴りから出足をつけて遂に赤柱へ寄切つた、同國の一番だけで十分の右四つから敵獣に吊られた今日の双葉にはあまりの呆つ氣なさを感じた、それはさておき例の如く他の主な割に就て記すと

若浪—錦谷 激しい突合ひから錦谷右差左を當てて西十俵へ寄るを若浪差手を小手に捲きケンケン極つて若浪の勝

九ケ錦—富田濱 九ケ錦右を差手を富田捲きかへて左四つ、九ケ錦左を抱へて大きく下手投を打つたが富田濱殘して黒柱へ一氣に寄るを九ケ錦左へ打棄つて勝

松浦潟—小松山 人氣者同士の一番激しい突合から松浦左を差せば小松上手から前褌を取り松浦の右をおつつけて黒柱へ寄るを松浦殘し、小松今度は雙方前褌を掴つて裏正面へ猛烈に寄つたが松浦下手投を打つて殘るを寄切る

高登—巴潟 巴潟例の如く飛込んで双差に押し立てたが高登左を抱へ込んで寄返し、今度は高登右差し正面十俵へ吊り身に寄るを巴左で首を捲き内掛を見せて懸命に殘すをそのままグイと吊出して高登の勝

小島川—大潮 激しい突合ひから右四つ小島永引いてはと左から上手投を連發、大潮一度は預けて殘したが遂に正面十俵へ上手投極つて小島川の勝

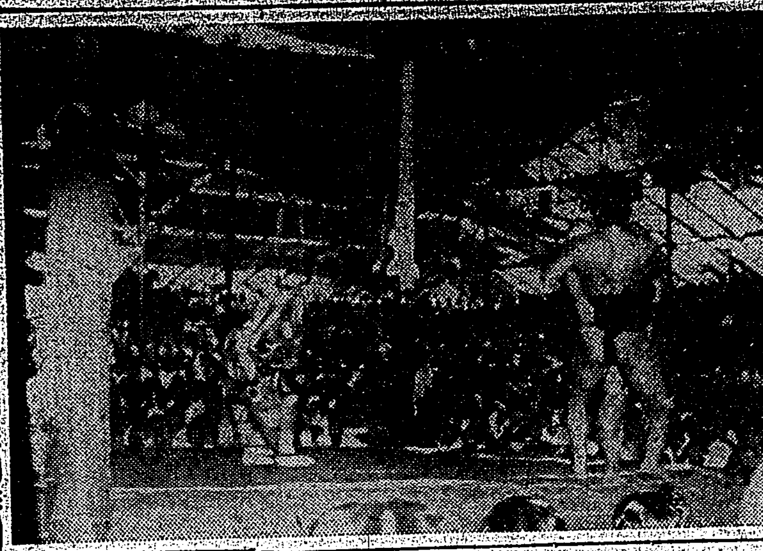
富士嶽—鶴ケ嶺 立上るや鶴嶺直ぐ双差赤柱へ一氣に寄るを富士門に極めて左へ打棄る

磐石—旭川 左四つ、旭川巧みに磐石の右上手を嫌つたが遂に上手褌十分そのまゝ正面へ太鼓腹を煽つて寄立てられ劍ケ峰に耐へたが寄切つて磐石の勝

名寄岩—鯱ノ里 ガツプリ左四つ鯱下手褌を取つたが結局十分の左四つから名寄赤柱へ吊るを鯱殘して下手投を打つたが名寄差手を抜いて寄出す

男女川—羽黑山 双方左を淺く差し右を殺して寄合つたが一度とけて右四つで一呼吸羽黑男女の左をとつたりに、十俵をくる〳〵廻つたが男女殘して今度は左四つから男女正面十俵へ寄り羽黑の耐へるを預けて寄切る

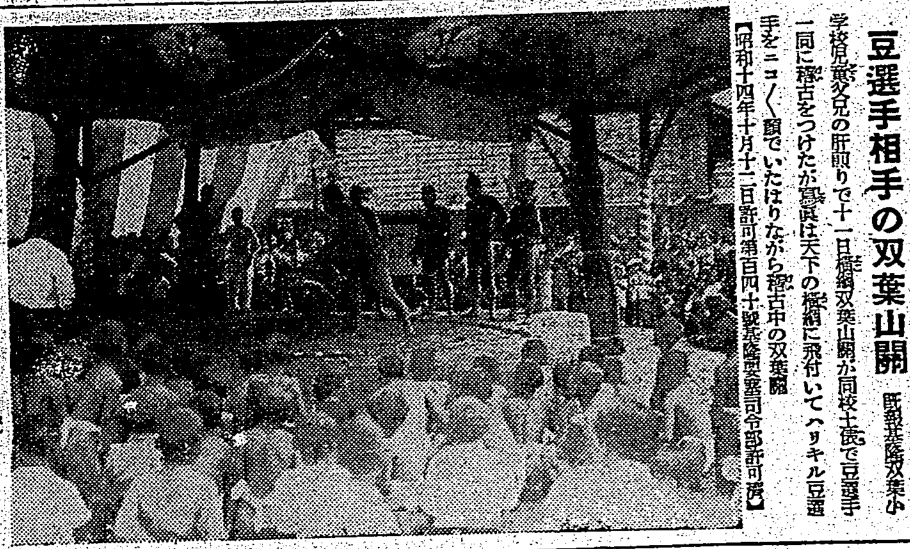
さてけふの千秋樂は、好取組の中に取立てて云へば羽黑、前田の一番こそはまづ台北場所での一番と云つてよからう、夏場所は寄倒しで前田の勝となつてゐるがその後の各場所で一進一退の成績を示し札幌では巡業とは云へ水入後の引分と云ふ大相撲となつて居り、前田にすれば先般大關として敗れられぬ一番、羽黑としてはけふの兄弟子双葉の雪辱戰、台北場所の掉尾を飾る大熱戰となるに違ひない（寫眞は黒柱で前田山の打棄り極り双葉が敗れた瞬間）



けふの千秋樂

大相撲台北場所は泣いても笑つてもけふ一日の千秋樂であるが、本日は各等前賣券の見當もつき當日來場のファンにも備へて協會では最後の馬力をかけてゐるが、入かけになつた十一日の分を始め各前賣は今日を逃がせば無效となり、拂戻し等はしない事となつてゐるので折角無駄にせぬ樣來場して欲しいと協會側で希望してゐる

豆選手相手の双葉山關



既報基隆市双葉小學校兒童父兄の肝煎りで十一日横綱双葉山關が同校土俵で豆選手一同に稽古をつけたが豆選手は天下の横綱に飛付いてハッキル豆選手をニコ〳〵顔でいたはりながら稽古中の双葉關【昭和十四年十月十二日許可第百四十二號基隆要塞司令部許可濟】

二十日に變更
嘉義の東京大相撲

【嘉義電話】來台中の東京大相撲一行の嘉義市にかける興行は二十一日公會堂に於て公開される豫定であつたが都合に依り二十日に變更された

もの凄い前景氣
迫つた臺南の大相撲

今は日本一の日下開山、横綱として人氣の焦點たる双葉山も前頭二枚目で今日の榮冠目差して精進を續けてゐたであらう昭和十一年以來丁度四年目、市民待望の東京大相撲の來南を二十一日に控へて台南の前人氣は頗る上乘、デパートの飾窓に、店頭に、街頭に蹴亭流の番付が行人の目を惹き付け、台北からのラヂオ放送がもう市民を興奮させてゐる、理髪店の一角では待つてましたとばかり、相撲談議に泡を飛ばす角通の連も見受けられる、何しろ久方振りに國技相撲の醍醐味を滿喫して貰はうと云ふので兩横綱、兩大關合併大相撲勸進元の木の香りも新しい看板を掲げて消防組では山本御大始め組員、世話人が、さては先乗りの田山氏事元横綱宮城山まで巨軀を提げての東奔西走、市内各方面よりの旺んな後援に足が幾つあつても足りない忙しさ、殊に今回の興行は輝く興亞の聖戰に無敵皇軍將士を招待、その勞苦の一端なりと慰め得ればと願ふ市民的感謝の籠められたものでもあり、場上にも一般の好評を呼んでをり、前賣券の賣行も良好勸進元を感激させてゐる、田町廣場に設けられた小屋の骨組みも大體出來上りもう二三日もすれば支度は万事オーケー、二十六間四面五千人を優に收容出來ようと云ふ台南場所はやがて打出される櫓太鼓の音を秘めて花形力士の土俵入りを待つばかりだ、因に料金は桝二十四円（四人詰）他六円、五円、四円、三円、大衆席一円となつてをり、皇軍將士慰安として又國技普及の上から近頃意義ある催物と云へよう

庭球代表征途へ
けふ三時二十分臺北發

晴れの神宮大會へ、わが台灣代表として出場すべき既報百十二選手の中、軟式庭球部の辛コーチ、佐藤マネージャー、耳井主將以下十九選手は愈よ今十七日午後五時半基隆出航の蓬萊丸で勇躍征途に就く事となつた、先發に先立つて關體協部長以下幹、佐藤、耳井三君が一同を代表して挨拶の為本社に來訪したが耳井主將は語る

かうした時局に選ばれて大會へ參加する私共は責任の名譽の爲ある限りの力を盡して闘つて參ります

尙一行は台北驛發は午後三時廿分である

けふ決勝戰
全島庭球選手權

雨天の為め延期となつてゐた全島庭球選手權大會は雨も漸く上つた模樣なので愈よ十七日午前十時より台銀コートに於て開催することとなつた

屏東秋季野球

【屏東電話】屏東市體協主催の市内秋季野球大會は十四日午後一時より公園球場に於て開會、參加團はA組稅務、專賣、治水、市役所、航文、屏監六團、B組航文、官美の兩團先づ各團入場式を行ひ谷大會長の静かな始球式あつて直ちに第一回稅務對專賣の試合開始したが九對五で稅務勝ち引續き四時より市役所對治水の試合を行ひ結局二對一で治水勝つた

稅務	1	0	3	0	3	0	2	9
專賣	0	0	2	0	0	3	0	5
市役所	0	0	0	0	0	1	0	1
治水	0	0	2	0	0	0	0	2

嘉義の弓道爭霸戰

【嘉義電話】嘉義地方弓道聯合會の秋季爭覇戰は十七日午前九時より稅務出張所矢場に於て開催される、當日は時局下武道興隆の波に乗り出場團は北港、虎尾日糖（二團）大林、岸内、斗六、龍巖、南靖（二團）新營、嘉稅（二團）蒼棗、武德、嘉義文部の十五團體に及ぶ盛況で激戰を豫想されてゐる

市内軟式野球

台北秋季軟式野球大會は十五日午前九時より古亭町台銀球場に於て開催されたが第一試合を終つたのみで降雨の為め中止となり十七日（祭）左記番組の試合が擧行される筈、尙其他の試合は追て決定の由

十七日
午前九時　地理—無線
午前十一時　貯銀—警網
午後一時　醫專—電力
午後三時　稅大—共益

追て第一試合の成績は左の通りで通運が勝ち殘つた

票券（先）	0	0	0	0	0	0	0	0
通運	0	1	3	0	0	0	A	4A

萬里庄體育會

台北州の體育祭實施要綱に基いて基隆郡万里庄に於ては來る十九日午前八時より瑪鍊公學校校庭で、金山庄では同日午後一時より金包里公園にて夫々國民體育祭を開催するが當日の參閲官は尾山基隆郡守である、尙參閲順序は左記の通り

一、一同集合　二、一同敬禮　三、國旗掲揚　四、宮城遙拜　五、祈願默禱　六、庄長挨拶　七、人員報告　八、閲兵分列　九、演技　十、講評　十一、州歌齊唱　十二、國旗降納　十三、万歳三唱、因みに演技は軍國競爭外七種目

新營青年團査閲

【新營電話】新營郡新營街聯合青年團査閲は十二日午後二時より七時迄神社外苑で擧行秋本郡守、長谷川州社會主事、田口州視學、中村警察、八反田郡務兩課長各街庄長來賓多數並に男女四十七團人員四千五百餘名臨場の下に在鄕軍人の採點に依り優勝旗は男子青年團新營第五分團、女子青年團王公團分團に授與されたが二、三等に對し各金一封を授與男子二等王公團分團、三等新營第一分團、四等土庫分團、五等新營第五分團、女子二等新營第一分團、三等下角帝團分團、四等新營第五分團、男女何れも平生熱心なる練習の結果隊伍、敎練、分列行進等の成績は頗る良好であつた

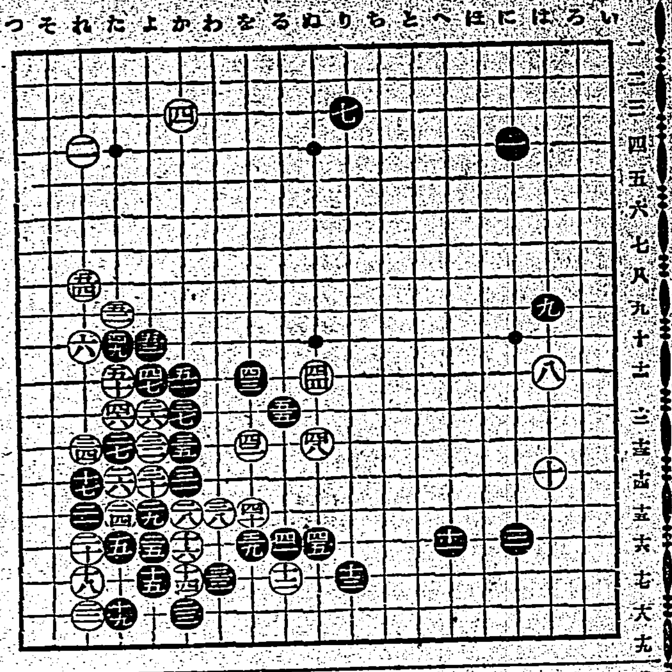
復緣を迫り刃傷

【宜蘭電話】宜蘭街宜門一三二一五游氏阿貴（三）は十一日午後九時頃實家の礁溪庄林尾二〇二番同姓方の離室で内緣の夫羅東郡冬山庄龍目井二二飲食物行商吳阿牛（三）のため口論の末刃渡り六寸位の小刀で左頸部、右乳下及び下腹部等を刺されて即死、加害者は逃走し同庄四結四七〇游大容方附近の小路に逃がれ得ぬものと觀念し前記小刀を以て上腹部を突き水田に蹲げ込んで居たのを十二日午前二時過發見逮捕され宜蘭醫院に担送手當を受けて居るが重態である、原因は加害者は頗るなまけ者で阿貴に嫌はれ一箇月程前別れて居た處頻に復緣を迫り拒まれたためである

本社主催 高段者對抗碁戰

日本棋院　棋正社　第二次七段手合組

六段 小野田千代太郎　先 四段 坂田榮男



いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

第五局の九

●四九た十　30　○五〇た十一　3
●五一か十一　○五二た九　1
●五三と十　4　○五四れ八　1
●五五る十二

持時間各九時間（一分以内切捨）
消費時間 白 二時三六分　黒 四時〇六分

白の左邊確保默認
好んで愚形を求めた譯は

評解 七段 木谷實

（評解）作戰に黒四七では「かノ十二」にノビキル手を推奨して置いたが、すると參考圖（1）の樣な變化が豫想される、參考圖（1）黒一白二は作戰に詳述した如くである、次に黒は三と打つ、これは遡つて本譜黒四三に對して白が四四と打つたのと同じ意味で、白から三の方面にトバれては堪らぬから、それを防がうといふのである、白は四と打つて逃げる位のもの、この手で「い」とコスミ出して來れば、黒「ろ」とサシ込み、次に白は「に」なら黒「に」又白「に」なら黒「に」ときり、何れにしても因つて居る戰ひを、黒が回避する理由は認められない、黒五と打つて中央の友軍に聯絡しつつ、白陣地の削減を企圖する、譜に比して黒は斯う打つ方が、明らかに優るものがあらう、尙黒五に次いで白若し「ほ」と反撃して來れば、そこで黒「へ」に備へるといつた呼吸である

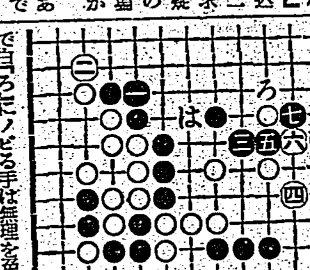
◇黒四九とコスミツケ以て白五四迄の交換を了し、然る後黒五五とノゾいて行かうといふのが、黒四七からの作戰なのであらう、しかし黒四九に次いで白が「れノ十二」のハネだしに備へて五十とアテ込んだ時黒五一とツイで白から五二とアテを利かされ好んで惡形を求めたのは、何故だらうかといふ疑念が起るであらう、これは當然の事である、といふのは斯ういふ場合黒五一では五二の方をツグのが常識だからである

◇苟も四段の先生が打つた手である、其處に何等かの理由が潜んでゐる事は、容易に類び知る事が出來るがそれは何か？木谷七段にこの疑問を一掃して貰はう

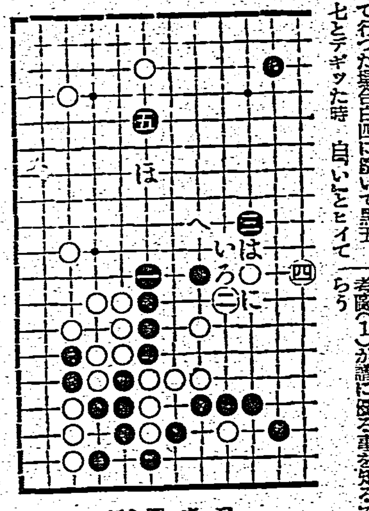
（附記）黒が五一で五二にツガなかつた譯を參考圖に示す、參考圖（2）即ち黒一とツケば、白は二とノビキル、次で黒三と譜の如く逼つて行つた場合白四に斷いて黒五、七とテギッた時、白「い」とヒイてくれれば、黒「ろ」とトルが、白は「ほ」とツケ、コス筋が殘存するから「ろ」とノビて强硬に戰ひを挑んで來る恐れがある、然るに譜の如く打つて置けば、（2）圖の黒七に次いで白「ろ」にノビる手は無理を免かれないから「い」にヒク外はない

×

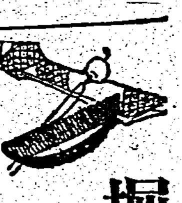
この意味から黒は五一とツイで白「わノ十一」の筋を完全に解消したのである、しかし白五四迄と左邊を堅めた黒の損失は少なからざるものがある、この意味に於ても參考圖（1）が譜に優る事を知るであらう



參考圖（2）



參考圖（1）



堀部安兵衞 (78)

一龍齋貞山演　矢島健三畫

初對面（一）

堀部安兵衞腹を立て、初めて尋ねて來た客を捨て置くとは何だ、碁等は何時でも打てる、己れが好きな碁を諦つて、客に無禮をなす、大野九郎兵衞の倅軍右衛門といひ又此の大石内藏助といひ、聞きしに劣つたイヤハヤどうも赤穗の武士には剛坊な奴は一人もない、是は呆れ返つたものだと、思ひながら對手の坊主を見ますると、年の頃は三十を少し出たといふ年輩、黑綸の着物に墨染の法衣を着て、ペクリ〳〵と良を喫ひながら、ニコニコと頻に笑を含んで

坊「イヤ、茲が大事の所でござる、篤とお考へあれ、御思案が肝要だ」

内「さればさ、茲が天下分け目の石だな、ウーン……」

と頻りに唸つて居る、此方では安兵衞が、膝に手を突いて、大石の無禮にウーンと唸つて居る、坊さんがそれに氣が付いて、

坊「太夫、お客來ではござらんか、御挨拶を先にしてあとで碁を履みなすつたら宜からう」

内「ハア、左樣でござつたか……イヤ堀部氏か、マアマア近う進まつしやるが宜い」

始めて声が掛つたから、安兵衞がヂリリと前へ進んで、

安「私は、堀部彌兵衞養子、安兵衞武庸にございます、以後はお見知り置きを願ひたい。」

叮嚀に挨拶をしながら安兵衞が頭を上げて見ると、何時かまた大石は盤の方へ向かつて夢中だ。安兵衞どうも手間なる事、誠しい、何の事だ、誰に旦那ア挨拶をしたのだ、怪しからん奴は内藏助だと思つてゐる。

安「エエ太夫、手前之にてお暇仕る、重ねて又罷出でます、今日は中座いたすでござる……」

内「マア緩々と話をさつしやるが宜い、マア〳〵宜しい、相變らず健やかなあ」

安「御意にございます、養父も至つて壯健で暮らして居ります」

内「ハ、ハア左樣か、イヤそれは結構だ、久しく私も文通をいたさんよ」

と何も上の空、始終眼は碁盤を離れませんで石を手に持つて居る処は、碁に九分心を奪はれ、挨拶は上の空、サア〳〵安兵衞ヂリヂリ、怒り心頭に燃え上つて、見る見る間に、額に青筋のやうな筋を現はして、拳を握り、身を震はした安兵衞が、イヤどうも聞きしに違ひ内藏助といへる人物は傲無禮の奴である、どうして赤穗といふ所には、此んな奴ばかりが揃つて居るかと怒つて居ると、彼の和尚が、

坊「太夫、大夫、御來客の御挨拶が先になされて碁は後でゆるりとなされてはどうだ大夫……」

内「何の彼のと、隣者さうとしても、ドッコイさうは往かん、惡うしたら何とする……」

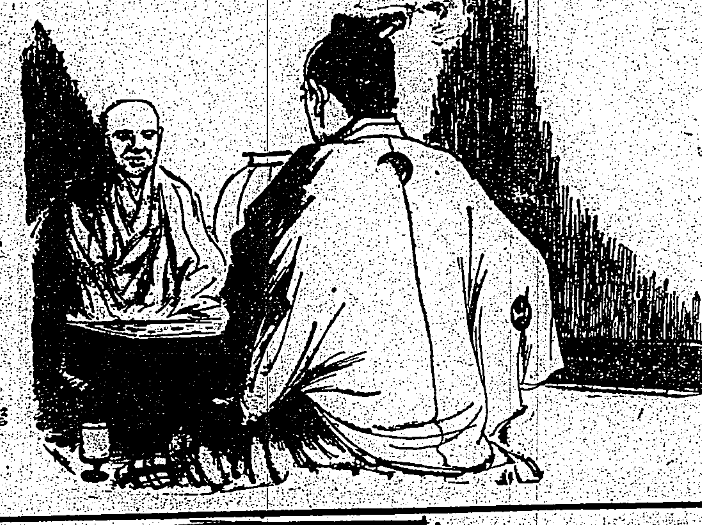
夢中になつて碁を打つて居る、サア安兵衞プン〳〵腹を立ててこんな席に長居は無用、禮儀も挨拶も入つた話ではない、マゴ〳〵したら打惑して呉れようと、パリ〳〵齒嚙をして安兵衞が今座を立たうといふ所へ次の間から入り來たつたのが、年の頃八ツか九ツ位、前髮のございます、如何さま内藏助の倅とも見えます、家の定紋の付いた綾羅綸の着物、擢織の袴を着けまして、和尚と内藏助が碁を圍んで居る、その盤の前へドカリと坐つた、座を立ちかねた安兵衞が此の少年に目を付けますと、

和「イヤこれは〳〵松之丞殿、お父上が大分御敗軍だ、チト助言をなされてはどうだ」

松「イエ、助言をいたして勝つたのは誠の勝ではございません、私は左樣な事は嫌ひだ」

和「ハハア、然らば父上樣が万一の事ある時に御身は見殺しなされるな」

松「イエ〳〵さうではありません、それと是とは違ひます。」



せき は輕い内にチミツシンを與へて治すこと、それが豫見を百日咳、肺炎などの重症から救ふ何よりの秘訣です。

チミツシン

一円・一円八十錢

クロード
モレンクリーム
小皺タルミを取ります
垢ぬけて色白くなります
特獨シモレン美肌作用で…
三五セン・六〇セン
東京・三葉商會・大阪

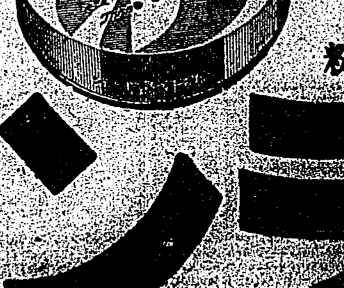
◎海員養成所 甲板部 機關部 生徒募集
◇年齡滿十五歳ヨリ二十四歳マデ◇寄宿舍ニ賄無料◇養成期間約二ケ月◇學科服、帽子、教科書、食料給與◇卒業後ハ日本郵船、大阪商船ノ外國航路船又ハ其他ノ船會社ノ汽船ニ乗セシム◇詳細ハ左記二ケ所ノ内便宜ノ所ヘ返信料三錢封入ノ上申込マレタシ
横濱市中區 日本海員掖濟會横濱普通海員養成所
大阪市港區 日本海員掖濟會大阪普通海員養成所
福岡縣若松市 日本海員掖濟會若松普通海員養成所

超多綴式
机上の荒鷲
コンド帳簿

蛇の目ミシン
縫ひよいミシン　買ひよい月賦
台北市表町二丁目一〇 帝國ミシン株式會社台灣營業部
台北市榮町四丁目三 帝國ミシン株式會社台北營業部

ぜんそく發作の季節來る
無代進呈
喘息王
ぜんそくに　百日せきに　たんせきに　感冒せきに
●起りかけた發作もそのまゝしづまり
●烈しい發作を緩和し
●咳を止め、痰を切り
●呼吸を樂にしてよく安眠出來る
●漫性の難症も手當次第で漸次輕快になつて來る
▲定價 試用分五十錢、一圓三十錢、二圓五十錢、四圓八十錢、七圓
●全國信用ある藥店にあります
冊子「わかり易い喘息の療法」を差上げます。ハガキで本舗へお申込み下さい。
本舗 東京小石川音羽町 大日本雄辯會講談社商事部

近代人の赤毛染 白毛染
ナゴン 納言
製法專賣特許
粉末一品で水に溶いて直ぐ染まる
ナゴンは人間の毛髪だけを染める爲に、始めて…
帝國大學化學實驗室で研究完成の白毛染
特長
●ナゴンこそは人間の毛髪のみを専門に染めるため帝國大學で研究完成した白毛染でウブ毛まで完全に染まる事
白毛染はカブレなくても猛毒なものは自然に内臓を冒したり健康を害したり、又は姙婦の死産の原因ともなる事を御承知ですか！醫學は是れを敎へ警告しています。ナゴンは誤つて飲んでも別條ない程ですから永年使用しても右の樣な心配なく其上非常に氣持よく染まります。一生の健康、殊に子孫に及ぼす影響のため、一日も早くナゴンの御使用をお勧め致します
全國デパート藥店にあります
[illegible]

★お顔にかぶさるコナでなく
★お肌にしツくりムラなく、なじむプリマウスパウダーの極微粒子コナ白粉です！
★一日に何度もパフで叩く…そんなコナとは比較にならぬ…生々と一新されたお化粧上りの美しさ！
素的な色味の5色
1 白色
2 肌一號色
3 肌二號色
4 黄肌一號
5 黄肌二號
プリマウス・パウダー（世界一流の極微粒子）で・とても美しくつく劃期的コナ白粉
コナ タンゴドーラン
[illegible]